

堂々! 創刊

実務叢書

わかりやすい

# 不動産の適正取引 シリーズ

(一財) 不動産適正取引推進機構 編集

## 【実務叢書 発刊の趣旨】

- 近年の宅地建物取引業法に関する法令改正、裁判例の蓄積等に伴い、宅地建物取引業者、宅地建物取引士等に求められる知識、ノウハウが大幅に増加しています。
- 本実務叢書は、このような状況の中にあっても、宅地建物取引業者、宅地建物取引士等が、所要の知識等を身に付けて、不動産の適正取引を行うことができるよう、バランスの取れた知識等を、わかりやすい形で、普及することを目的に企画されたものです。
- 消費者の方々や不動産取引に関心のあるの方々等に役に立つものになることも、留意しています。
- 本実務叢書が、我が国における不動産の適正取引のさらなる推進や宅地建物取引業の信頼産業としての地位のさらなる確立に、役立つものになれば、幸いです。

**I** 不動産取引における 重要事項説明の要点解説  
(改訂予定)

**II** 紛争事例で学ぶ 不動産取引のポイント  
紛争事例研究会 著

**III** 新版 わかりやすい 宅地建物取引業法  
周藤 利一●藤川 眞行 著

**IV** 不動産媒介契約の要点解説 (新刊)  
次ページ参照 岡本 正治●宇仁 美咲 著

**V** 不動産売買における 媒介報酬の要点解説(仮称)  
下村 正明 著

<刊行(予定)順。その他、今後、新たな企画・刊行も予定>

(新刊)

実務叢書 わかりやすい不動産の適正取引シリーズⅣ

# 不動産媒介契約の 要点解説

著：岡本正治・宇仁美咲

編集：(一財)不動産適正取引推進機構



**理解すべき基本的な法律知識と具体的な媒介業務の  
対応をわかりやすく解説!!**

◎最新の宅地建物取引業法の条文に沿って、その趣旨、解釈・運用、留意点等を解説!  
はしがき(抜粋)

本書は、媒介業者が理解しておくべき基本的な法律知識と具体的な媒介業務の対応について解説したものです。

実務に役立つ知識や経験を学ぶには、紛争事例を補助線にすることが近道です。解説にあたっては、取引の流れに沿って、紛争を踏まえながら法律上の問題を整理し、媒介業者が紛争に巻き込まれないためにはどのような注意を払うべきかについても、弁護士の視点から言及しました。

宅地建物取引業法をはじめ、関係法令を遵守し、取引過程の透明化を図り、契約当事者が取引物件・取引条件を十分理解した上で契約締結に至るように努めることは、適正・公正な取引に不可欠です。そして、適正・公正な取引は、宅地建物取引の流通にとってもっとも大切な要素となります。

## 目次(抜粋)

### 第1編 総論

- 序章 不動産媒介契約の位置づけ
- 第1章 不動産媒介契約
- 第2章 不動産媒介契約の成立時期
- 第3章 媒介業者の義務
- 第4章 媒介報酬と業務規制
- 第5章 不動産媒介契約の終了
- 第6章 高齢者と不動産取引

### 第2編 各論

- 第1章 不動産媒介を巡る紛争
- 第2章 不動産媒介の調査・説明を巡る紛争
- 第3章 取引勧誘を巡る紛争
- 第4章 売買契約・賃貸借契約を巡る紛争
- 第5章 決済・引渡しを巡る紛争
- 第6章 契約からの離脱を巡る紛争
- 第7章 媒介報酬を巡る紛争
- 第8章 共同媒介を巡る紛争

■A5判・756頁・並製(カバー装)・定価6,930円(本体6,300円+税10%)・図書コード3437